

# 笛吹市内の

# 里山保全を目指して

## ACTIVE KUMIAI

### クリーンネット笛吹協業組合



「里山保全」を目的として締結式

クリーンネット笛吹協業組合(藤巻眞史理事長)は、5月22日「笛吹市学びの杜みさか」において、市内の「里山保全」を推進するため「大野寺の森 森林整備協定」を締結した。

この締結は、組合が笛吹市等と連携し、笛吹市内の「里山保全」を社会貢献事業として実施するために行われたものである。

り、締結式には藤巻眞史理事長、荻野正直笛吹市長、森林所有者、林業者の4者に加え、やまなし森づくりコミッションの浅川力三会長が立会人として参加した。

また、締結式には深沢侑企彦山梨県林務長も来賓として参加し、今回の里山保全事業の実施についてエールを送っていた。

今回このような締結がされた背景として、近年、山梨県内の多くの里山で、景観の荒廃や里山特有の動植物の衰退など生物多様性の劣化が進行しており、保全・再生が急務であることが挙げられる。

このような状況の中、従前より笛吹市内の環境美化活動に積極的に取り組んでいる同組合が整備資金の負担も含め、中心となって取り組むこととなった。

今後は、5年間にわたり御坂町大野寺の私有林0.52haを組合員とその家族によるボランティア活動として笛吹市や林業者等と連携し、間伐、除伐、歩道整備、植栽、下刈り等を行い、整備終了後は笛吹市内の別の里山の整備活動に取り組み予定となっている。



関係者一同での記念撮影